

《 国際文化学科 卒業論文題目一覧 》

2009年度

卒業論文題目	指導教員
イギリスが守るやすらぎの空間～ナショナル・トラストから見えてくる豊かさとは～	野村直樹
政府の言語普及政策 ～対外日本語教育の歴史とその役割～	佐野直子
アジア系カナダ人と多文化主義 ～人種差別から多様性の統一へ～	松本佐保
商業分野におけるカタカナ外来語使用の実態	佐野直子
地域福祉における第3セクターの可能性 —住民の、住民による、住民のための取り組み—	別所良美
先住民の集団的アイデンティティの再構築 —オーストラリア・アボリジニを例に—	山本明代
アメリカ人権外交の考察 —対中最恵国待遇更新問題を事例として—	平田雅己
シアトルにおける黒人貧困層と人種による住み分け	山本明代
イギリス大衆紙の歴史的形成過程	松本佐保
大英帝国衰退論	松本佐保
食人魂—西尾市の抹茶・おでんによるひとりひとりの町づくり	赤嶺淳
三浦綾子『氷点』・『続 氷点』論—「汝の敵」を愛する—	谷口幸代
ワーグナーのオペラにみる救済思想 —愛によるエゴイズムの克服—	土屋勝彦
「彼女の心はあたたかい」をどう表現するか—HAVEとBEの使い分け—	日木満
ポストモダンにおけるオタク文化についての考察	別所良美
メディアにみるスポーツとジェンダー	別所良美
ただいまと帰れる観光地づくり —宮古島さるかの会に学ぶ—	野村直樹
トーマス・ベルンハルトの作品における狂気の考察	土屋勝彦
望ましい語彙学習の在り方	宮田学
アンリ・マティスと《音楽》—「静穏の芸術」をめぐる考察—	寺田元一
日米における敵意の創生方法 —宗教と国民性から見える差異—	やまだあつし
日本人の観光の仕方に問題はないのか —屋久島の事例から—	野村直樹
未来への手紙 —加納朋子『ガラスの麒麟』論—	谷口幸代
'ask permission'と'ask for permission'の違い 「セット表現」と「カスタム表現」	日木満
キリスト教葬送儀礼に関する考察	土屋勝彦
大久保利通と伊藤博文の殖産興業政策	やまだあつし
シングルペアレントの貧困問題解決に向けた社会福祉政策の研究 —1990年代のアメリカ社会の考察—	山本明代
シュニッツラーの作品におけるウィーンのカフェハウス	土屋勝彦
郡上おどりが発展し続けてきたわけ —日本の祭りを衰退させないためには—	野村直樹
長良川は問いかけるもの —木曾川水系導水路計画をめぐる—	福武慎太郎
アイデンティティと移住の関係性 —アイルランドじゃがいも飢饉から見えてくるもの—	松本佐保
ワークキャンプを探る—新潟農業体験ワークキャンプの体験から—	福武慎太郎
シュタイナー教育の表と裏 —隠れたオカルト思想—	土屋勝彦
宮部みゆき『ブレイブ・ストーリー』の旅—属性を超えたヒトとの関係性—	谷口幸代
ヘンミングウェイのジェンダー —『武器よさらば』の悲劇—	田中敬子
女性からみる教育本としてのグリム童話	土屋勝彦
サブカルチャーに見る歴史上の人物 —坂本竜馬—	やまだあつし
祖母の日記 —戦時下女学生の日常と教育—	やまだあつし
「Imitation of Life」にみられるジェンダーと人種 —二つの映画からの考察—	田中敬子
食べ物で地域おこし！ ～各務ヶ原キムチの事例から～	福武慎太郎
アメリカ合衆国憲法修正第2条は市民の武器所有を認めたのか	平田雅己
検定教科書の比較研究 —中学校英語科の場合—	宮田学
地産地消の姿 —生産者との対話から見えてきたもの—	福武慎太郎
パウハウスに関する考察 —グロピウスが目指した未来の建築—	土屋勝彦
エクトール・ギマールとメトロ	寺田元一
無理なく地球を救うライフスタイル —LOHASのすすめかた	野村直樹
アニメ「攻殻機動隊」にみるスタンドアローンコンプレックス	別所良美
日本政治のパラダイムシフト —「政治主導」「脱官僚主導」に関する—考察—	平田雅己
アメリカにおけるミスコンテストの意義 —白人中心社会に生きるマイノリティ女性を通して—	山本明代
英語授業学的アプローチによるテストの波及効果に関する研究	宮田学
「放課」という語の使用状況と社会的要因について	佐野直子
受験英語の効果とその役割	宮田学
「明白なる運命」形成論 —アメリカの戦争への宗教思想的アプローチ	平田雅己
アメリカの学校における人種統合と学力向上政策	山本明代
アメリカにおけるジェンダーと女性の社会進出 —管理職への女性の社会進出を阻む要因と展望—	山本明代

卒業論文題目	指導教員
ナチス・ドイツはなぜ国民に受け入れられたのか —ヒトラー崇拜・神話からみる民衆の変化—	別所良美
マクドナルドのグローバル化の限界 —マクドナルドの現地化対策—	やまだあつし